前橋市アーバンデザインとSIBによる取組み

～群馬県前橋市～

MAEBASHI
URBAN DESIGN

~目　次~

はじめに

前橋市の紹介・課題

中心市街地の将来ビジョンの策定

前橋市アーバンデザイン

まちづくり分野
全国初

官民連携手法

SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）
導入～振り返り

前橋市の紹介

前橋市 MAEBASHI CITY

群馬県の県庁所在地である前橋市は東京からおよそ**100**ｋｍの距離に位置する中核市
人口は**2000**年をピークに人口減少局面へと転換している

人口

329,279 人

男性 **161,193** 人　女性 **168,086** 人

令和6年10月末日 住民基本台帳/前橋市

ゆったりと暮らせる

前橋の人口密度

863 人

可住地面積1㎢あたり

東京 **9,604** 人

自然が豊か

森林面積 **1/5**

面積311.59㎢の実に1/5が森林面積

MaaSへの先駆的な取り組み

スマートモビリティチャレンジ対象地域

子育て世代に優しい

子育てしながら働ける環境がある都市 **2** 位

成長可能性都市ランキング2017/野村総合研究所

待機児童 **0** 人

令和元年 厚生労働省保育所等関連状況取りまとめ/厚生労働省

物価が安い

物価水準 **1** 位

令和元年 総務省統計局 小売物価統計調査(構造)/総務省より

赤城山

日本百名山の **1** つ
標高差：市街地 **111m** 山頂 **1,828m**
市街地から気温差 **-10** ℃
裾野の長さ日本 **2** 位

農業産出額合計

全国1,718自治体中

399 億円 **15** 位

うち畜産計

260 億円 **10** 位

農林水産統計 平成29年市町村別農業算出額(推計)

豚 **9** 位

EVENT

市内外から人が集う賑わいのある街

市民が中心となる様々なイベントを開催。県外からも観光客が訪れる。

まえばしブックフェス

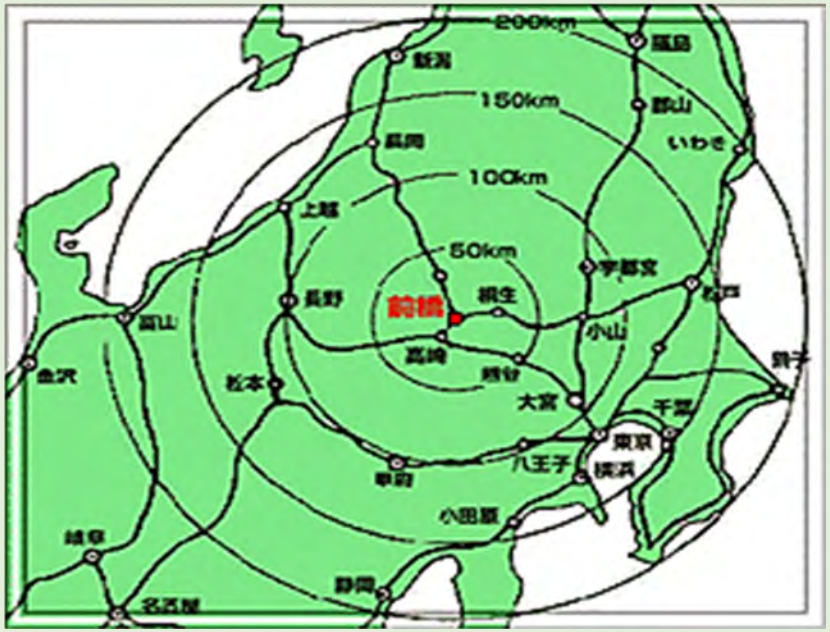
まえばし4大イベント

前橋まつり

前橋初市まつり

前橋花火大会

前橋七夕まつり



前橋市の課題

- 人口・人材の減少
- 空き家・遊休不動産の増加
- 商業活動の停滞
- 来街目的の喪失

中心市街地の
空洞化・賑わい喪失

まちづくりの理念を官民で共有

- 官民がまちの将来像を議論し、可視化・共有化を図る
- より多くの地域住民や民間事業者を巻き込む
- 民間主体の取組みを推進

官・民で協働

↓

中心市街地の将来ビジョン

「前橋市アーバンデザイン」の策定

実効性の伴う計画づくり

新たな民間プレーヤーとなり得る
熱意と実行力のあるキーマンを
選出し２００人以上の参加による
ワークショップ等での意見を反映

前橋市アーバンデザイン

前橋市 MAEBASHI CITY

2019年9月策定

＜まちづくりの方向性＞

エコ・ディストリクト × ミクストユース × ローカルファースト

都市の利便さと自然と暮らす居心地の良さを
兼ね備えたまちづくり

住、職、商、学といった
複数用途の混在したまちづくり

地域固有の資源を
最大限活用したまちづくり

＜まちづくりの指針＞

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車でまちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先進技術を活用する

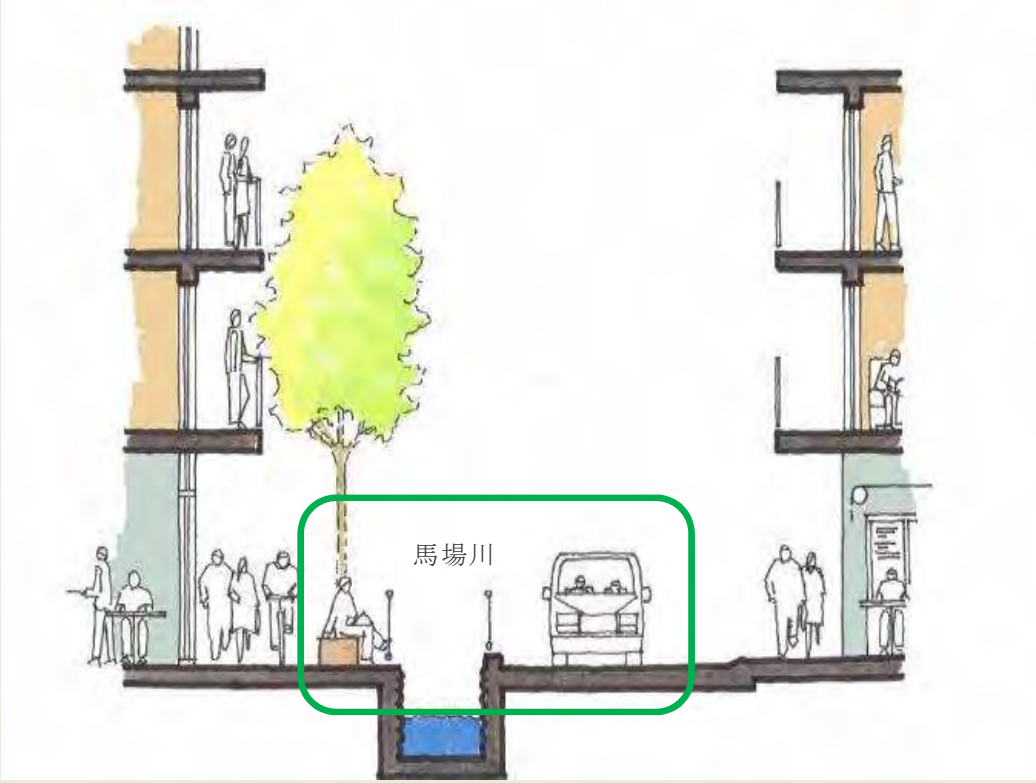
＜まちの将来像イメージパース＞

馬場川通りアーバンデザインプロジェクト

前橋市 MAEBASHI CITY

公共空間を民間資金で民間団体により再整備し、
その後の「まちづかい」・「エリアマネジメント」を実践

中心市街地の行政地区・繁華街をつなぐ街路を高質化して"リンク"と命名します。リンクは、各モデルプロジェクトをつなぐ役目も果たします。



道路・水路・遊歩道公園

延長約２００ｍ

まちづくり人材による「馬場川通りプロジェクト準備委員会」の発足

SIB導入の契機

前橋市 MAEBASHI CITY

- 民間団体からの寄付金で公共空間を整備
- 地域住民や若い世代が参画する準備委員会が発足
- 民間がプロジェクトの構想・計画・管理・活用を自分事として捉えている

こうした民間主体の取組みを
より推進させていくための方法は？

SIB導入の契機

SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）

- 民間ならではの創意工夫やノウハウを活かせる
- 事前に資金調達ができる
- 定量化した目標があることにより、まちづくり活動の担い手としての成長機会となる

SIB導入

前橋市 MAEBASHI CITY

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和３年１０月１９日
都市局まちづくり推進課

前橋市が市民と共に“本気で”取り組む、まちづくりの新しいしくみが始動！
～前橋市のソーシャル・インパクト・ボンド導入を支援～

前橋市と一般社団法人前橋デザインコミッション（群馬県前橋市）は、第一生命保険株式会社（東京都千代田区）と連携し、地域コミュニティの再生やエリア価値の向上を図る民間まちづくりの支援に「ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）」を活用したスキームを構築しました。

SIB を導入することで、民間事業者の創意工夫を活かせるとともに、民間事業者に対し事業開始前の資金提供が可能になり、民間まちづくりの一層の進展が期待されます。

こうしたまちづくり分野において、SIB を活用することは全国初の取組になります。国土交通省は、前橋市の取組に対し、専門家の派遣などにより支援しました。

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進業務

業務名

SIBによるアーバンデザイン推進業務

目的

地域まちづくり勉強会や公共空間の利活用に関する社会実験などにより、地域コミュニティの再生及びエリア価値の向上に資する取組みを支援し、賑わいのある中心市街地の実現を図る

受託者

一般社団法人　前橋デザインコミッション（都市再生推進法人）

委託期間

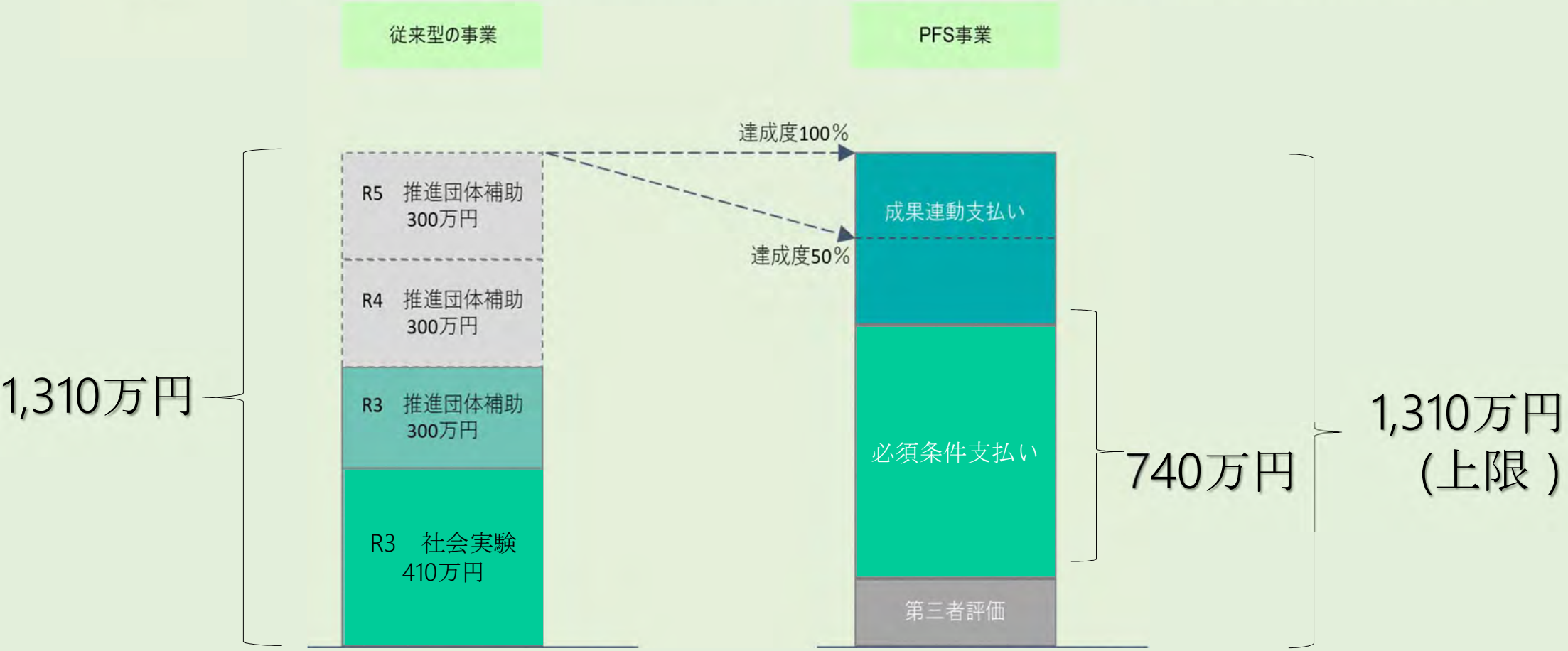
令和３年９月１６日～令和６年７月３１日

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進業務

報酬額　　１３１０万円

内訳　固定支払額　　７４０万円　：　まちづくり勉強会・社会実験の実施

　　成果連動支払額　５７０万円　：　成果指標の目標達成度に応じたもの

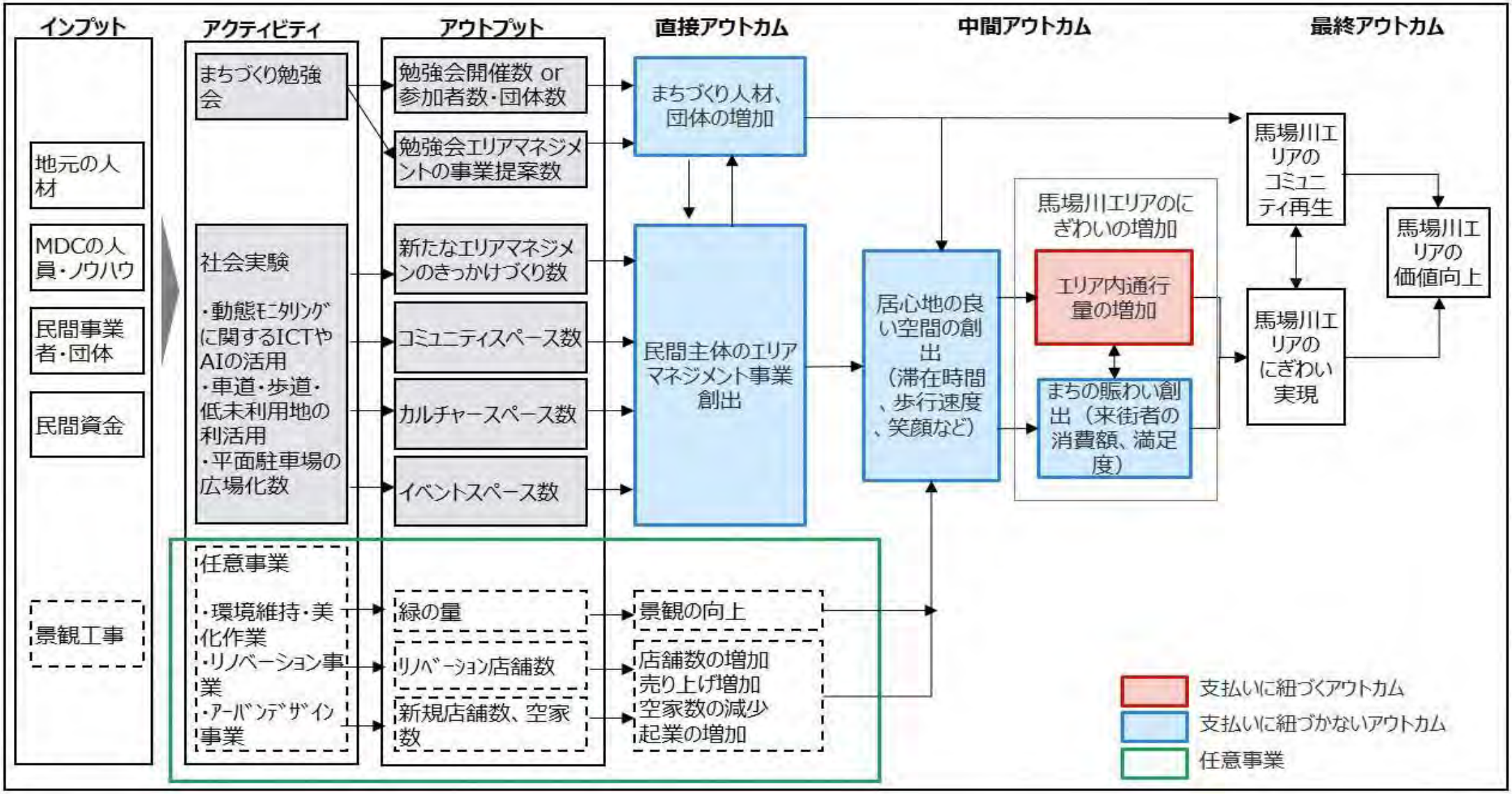


※必須条件支払い

　地域まちづくり勉強会の開催費用、屋外空間の利活用による社会実験の実施費用

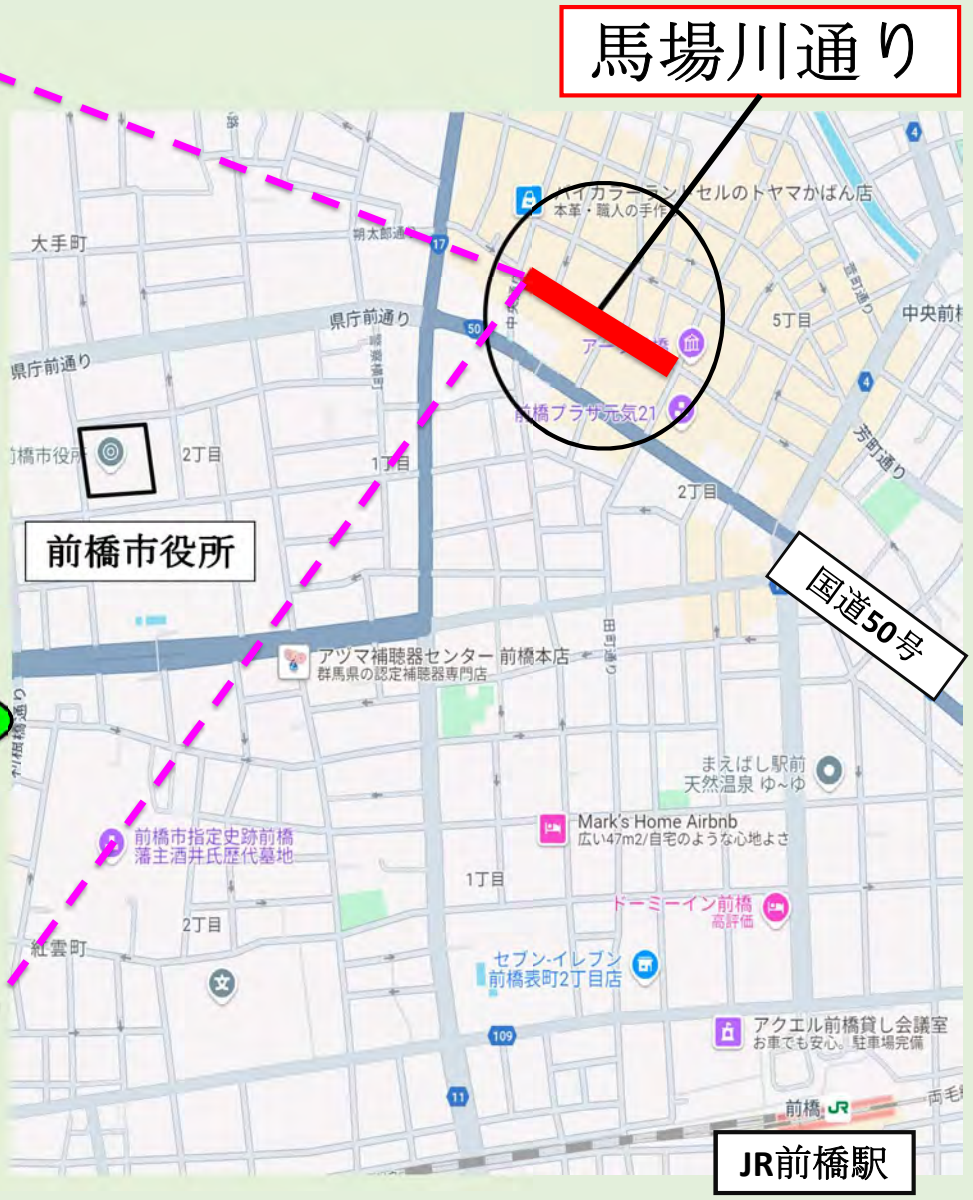
成果指標

ロジックモデルによる中間アウトカムの「**歩行者通行量**」を設定



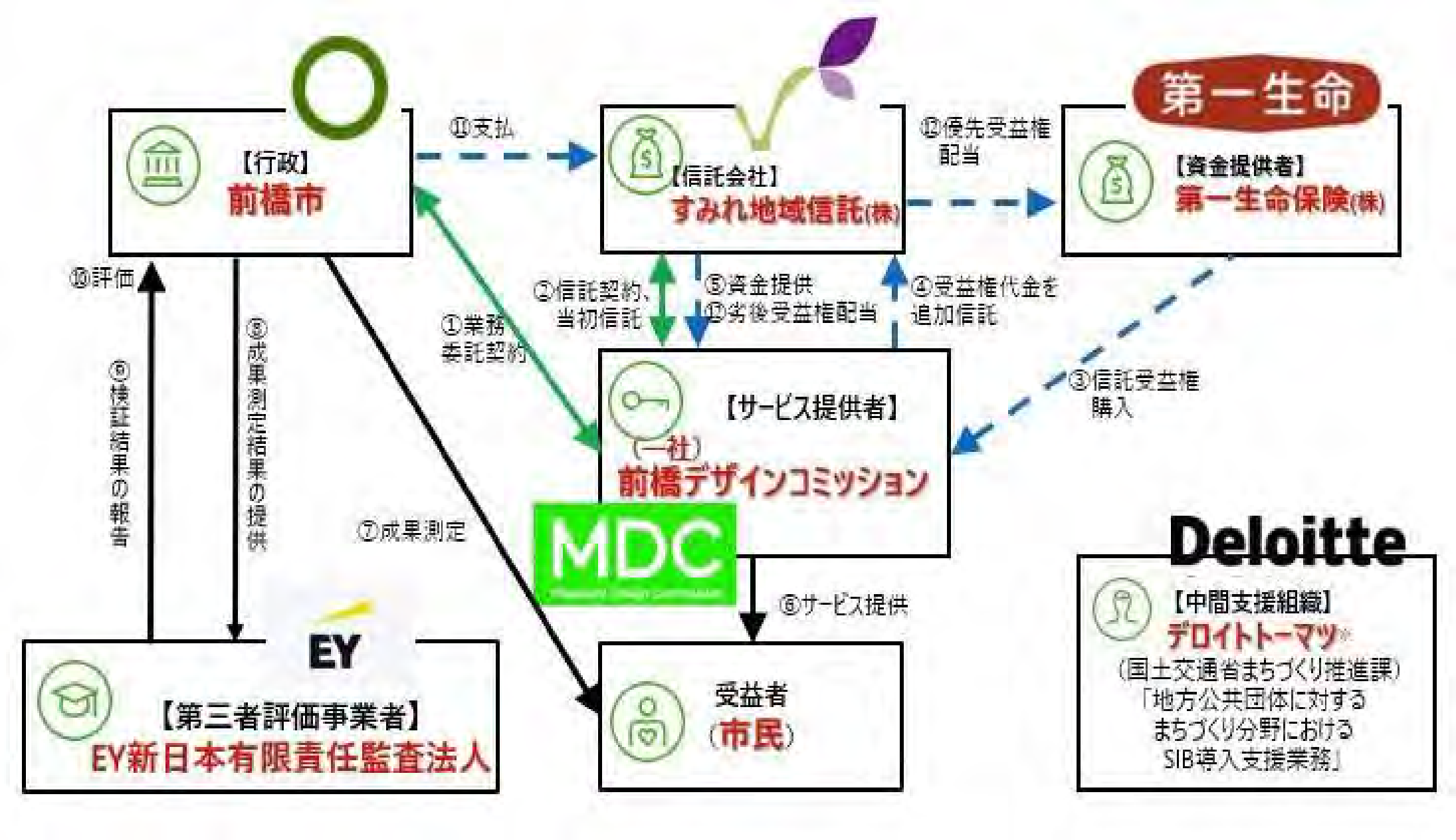
測定箇所・方法

トラフィックカウンター
以前から設置されていた
馬場川通り

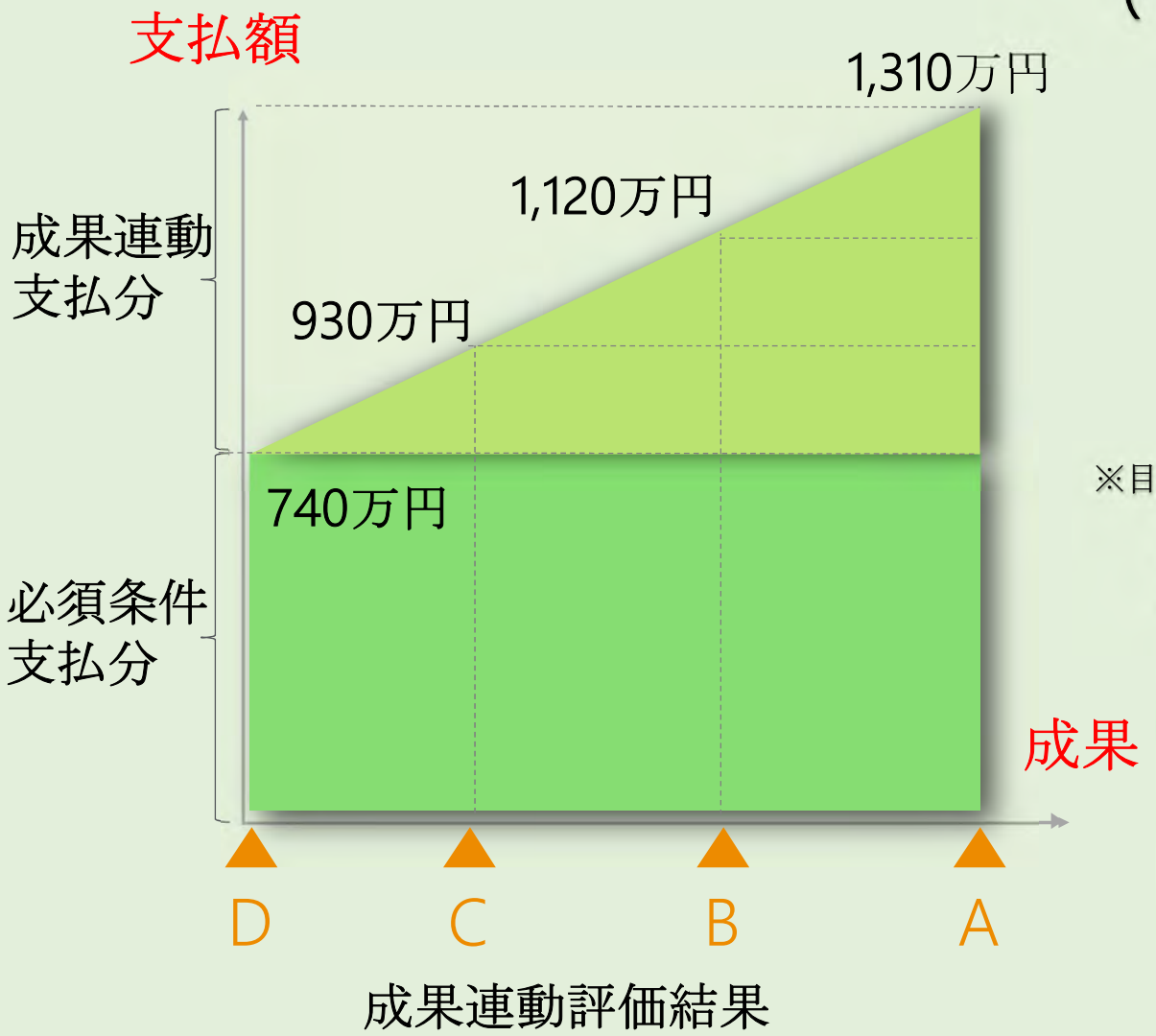

馬場川通り
前橋市役所
国道50号
JR前橋駅
大手町
県庁前通り
2丁目
1丁目
5丁目
中央前橋
アツマ補聴器センター 前橋本店
群馬県の認定補聴器専門店
前橋市指定史跡前橋藩主酒井氏歴代墓地
Mark's Home Airbnb
広い47m2/自宅のような心地よさ
まえばし駅前天然温泉 ゆ~ゆ
ドーミーイン前橋
セブン-イレブン前橋表町2丁目店
アクエル前橋貸し会議室
お車でも安心。駐車場完備
前橋 JR

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進業務

相関図



結果・達成状況



馬場川通りにおける歩行者通行量
（発注前：４６，４５６人/月）

Ａ：５０，４３２人以上
Ｂ：４７，９１０人以上
Ｃ：４５，３８８人以上
Ｄ：４５，３８７人以下

※目標値の設定
標準的な推計値をベースライン（Ｃ）とし、
中心市街地活性化基本計画の目標値を上限値（Ａ）として、
中間値（Ｂ）、標準以下（Ｄ）を設定

測定結果
（令和６年６月測定値）

５１，０３９人＝A評価

振り返り

前橋市 MAEBASHI CITY

目標達成の要因

・事業者と行政が、業務実施の意義を共有できていた

・事業者が、PDCAサイクルを回しながら柔軟に事業をアレンジして取り組むことができた

アーバンデザイン実現へ向けた動きの中で、
SIB導入という新たな取組みでの目標達成

↓

民間主体のまちづくりの実践を見据え、
今後の活動推進の大きな契機となった

ご清聴ありがとうございました